

2019年1月1日～2025年4月30日の間に札幌医科大学附属病院麻酔科においてSherlock 3CG（シャーロックスリーシージー）システムを用いてPower PICC（パワーピック）を留置した方へ

Sherlock 3CGシステムを用いて心電図法にて留置したPower PICCの留置および管理の後ろ向き研究

はじめに

臨床研究により新しい治療法を確立することは大学病院の使命であり、研究対象者の方のご協力により成し遂げることができるものです。今回参加をお願いする臨床研究は“自主臨床研究”と呼ばれるもので、実際の診療に携わる医師が医学的必要性・重要性に鑑みて、立案・計画して行うものです。

1. 研究概要と目的

当科では、2018年より末梢挿入型中心静脈カテーテル留置（PICC）に関して、不整脈がなければカテーテルの留置時にX線透視を必要とせず、心電図の変化でカテーテルの先端位置を確認する Sherlock 3CG（シャーロックスリーシージー）システムを用いて、Power PICC（パワーピック）留置を実施して参りました。PICC留置の目的は、①中心静脈カテーテル留置（CVC）のリスクが高い症例、②長期の点滴治療が必要な症例、③抗がん剤治療、高カロリー輸液療法、刺激性の強い薬剤投与が必要な症例、④血液凝固障害の症例、⑤右内頸静脈からのCVC留置困難、の患者さんに対して実施し、現在7年が経過しました。近年では、新たに②長期の点滴治療が必要な症例にはミッドラインカテーテルが適応として使用されるようになってきました。そこで、2019-2025年までに当科で留置されたPower PICCの留置手技及びその後の管理に関する分析を実施し、今後のPICC留置手技に関して検討をしたいと考えております。

2. 研究期間

病院長承認後から2026年12月31日まで

3. 研究に用いる情報について

年齢、性別、身長、体重、留置依頼をいただいた科及び病名、留置目的、感染症の有無、認知症の有無、留置部位の制限の有無、留置部位（右上腕 or 左上腕）、留置に要した時間、上大静脈-右心房接合部（CAJ）への留置成功率、CAJに対して異所性留置となった部位および割合、留置後の合併症、留置した日を0日として合併症が発生した日数

4. 研究機関

本研究は以下の研究機関と責任者の元で実施します。

代表研究機関

札幌医科大学

研究責任者 枝長充隆 (札幌医科大学麻酔科学講座)

5. 個人情報保護について

それぞれの患者さんの情報に関して、個人を特定できないよう個人情報を加工の上、麻酔科学講座の施設可能な場所で厳重に保管致します。電子情報の場合は、パスワード等で制御されたコンピュータに保存します。

6. 研究対象生じるリスク及び利益

既存情報のみを用いる観察研究のため、研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益はありません。

7. 研究終了後のデータに関して

保管期間終了後、電子情報は個人情報に十分注意してコンピュータから削除しその他の紙媒体で保管した情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

8. 研究結果の公表について

研究結果は、学会および論文にて公表することがあります。その際、個人情報は掲載致しません。

9. 問い合わせ窓口

あなたの情報を研究に使用することについて、あなたもしくは代理人の方にご了承をいただけない場合には研究には使用致しません。2025年11月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。ご連絡をいただいた時点が上記お問い合わせ期間を過ぎ、あなたを特定できる情報が既に削除されて研究が実施されている場合や、個人を特定できない形で既に研究結果が学会や論文で公表されている場合には、解析結果からあなたに関する情報を削除できませんので、この点はご了承ください。

オプトアウト期間 病院長承認日から2025年11月31日

窓口責任者の所属・職名・氏名 札幌医科大学附属病院 枝長充隆

連絡先

電話：011-611-2111

内線35680 (平日：9時00分～17時00分)

011-688-9663

(夜間、休日、時間外)

札幌医科大学麻酔科学講座 研究責任者 枝長 充隆